事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 27 年　11 月　12　日（　16：30　～18：00　）
１．　初期支援（はじめのかかわり）	メンバー	保多盛・金本・野田・菊川・室永 白川・佐々木・勝原・迫・米田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	4人	6人	4人	1人	15人
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？	2人	11人	1人	1人	15人
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか？	8人	6人	1人	人	15人
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？	1人	12人	2人	人	15人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

サービス開始前に、情報を共有し、サービス提供に生かしている。新規利用者が孤立しないよう、デイサービスや２階レストランで他者と顔を合わせる機会には、意図的に声掛けを行いコミュニケーションの橋渡しをしている。
本人や家族からの要望や心配事は、その都度報告し、伝達ノートを活用して共有している。
本人や家族に積極的に声をかけ、信頼関係の構築に向け努力している。

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

利用開始前にミーティングは行っていない。情報はファイルにあり、各自が確認しているが、理解不足になる恐れがある。
利用開始前の情報収集がしっかりできていなかったり、情報が入ってくるのが遅い。ケアマネの業務が多く、基本情報やアセスメント(課題分析）作成が間に合わないことがある。
サービス利用当初は、本人や家族も遠慮や戸惑いがあると思われる。また、本人の思いや環境などを理解するのには少し時間がかかるため、本人の思いを組み込んだサービスができていない。

次回までの具体的な改善計画	（200字以内）

病院や自宅を事前訪問して情報を得るようにし、得た情報は早めに職員に伝達する。
個人ファイル内のアセスメントシート（課題分析のための用紙。個人の情報が記入されている）に、各自が気づいた新しい情報を書き込む。特に思いの把握に努める。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 27 年　11 月　12　日（　16：30　～18：00　）
２．　「～したい」の実現 （自己実現の尊重）	メンバー	保多盛・金本・野田・菊川・室永 白川・佐々木・勝原・迫・米田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	「本人の目標（ゴール）」がわかっていますか？	1人	7人	5人	2人	15人
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？	人	11人	2人	2人	15人
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？	人	7人	6人	2人	15人
④	実践した（かかわった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かせていますか？	1人	7人	5人	2人	15人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

「～したい」という発言があれば、聴き漏らさないよう努め、ニーズや目標を確認して支援に生かしている。
すぐに実行できることであれば、できるだけ早く対応し、満足していただけるよう努めている。
あまり思いを言葉にされない方からも、話しやすい雰囲気を作り出すようにして、思いを聴きだせるようにしている。
サービスに関する会議を行い、日頃の様子や、本人、家族の意向を取り入れた話し合いをしている。
個別援助計画書に、本人の目標やサービス内容を具体的に書き、職員間で共有し実現できるようにしている。

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

利用者一人ひとりとゆっくり会話する時間が持てず、全員の目標を把握していない。個別性あるケアプランがまだ完成していず、目標に向けての満足いく支援ができていない。利用者の「～したい」につながるケアプランができていない。
入浴回数を増やしてほしい、家に帰りたい等の要望があったが、応えられていない。入浴は、デイサービスの浴室使用が午前中に限られており、一日に入浴できる人数に制限があるということと、訪問入浴では職員配置の問題や浴室の空き状況（サ付き住宅）、他利用者のサービスとの兼ね合いにより、すぐに受けらない状況である。
家に帰りたいという要望は、本人と家族とで思いに相違があり、家族の思いを優先することが多い。

次回までの具体的な改善計画	（200字以内）

利用者にとって、話しやすい職員がいるので、その職員がよく話を傾聴、思いを聴きだし得た情報を記録し、他職員と共有する。利用者の思い、生活に対する目標を把握するよう努める。
ご家族へ利用者の思いを伝え、どうすれば叶えられるかを一緒に考えていく。
必要なサービスを提供できるよう業務を見直し工夫する。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 27 年　11 月　12　日（　16：30　～18：00　）
３．　日常生活の支援	メンバー	保多盛・金本・野田・菊川・室永 白川・佐々木・勝原・迫・米田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか？	人	1人	9人	5人	15人
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	1人	14人	人	人	15人
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？	1人	7人	6人	1人	15人
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	3人	12人	人	人	15人
⑤	共有された本人の気持ちや対象の変化に即時的に支援できていますか？	1人	8人	5人	1人	15人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

朝・昼のミーティング時や、伝達ノート、ケア記録で本人の思いや体調変化などの気づきを共有し、ケアに生かしている。毎日のバイタルチェック（体温、血圧、脈拍等の確認）や、食事量・水分摂取量・排泄状況を記録し、精神状態にも配慮し、その時の状態にあった支援をしている。

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

本人の、”声にならない声”（真意）を聴くのは難しく、ゆっくり話を伺う時間が持てないこともあり、情報収集が不十分である。そのため「以前の暮らし方」の把握ができていない。
介護とは、自力で生活することが困難な方に関わり、その人らしい生活を実現することである（自立支援）、という認識をきちんと伝えず、本人、家族の要望を優先して、できることまで介助してしまい、その結果、自立を妨げている。
限られた時間内で行うため、利用者のできることも介助してしまうときがある。利用者の意欲を高める声掛けがうまくできないことも、自立を妨げる要因と考える。

次回までの具体的な改善計画	（200字以内）

初期の段階で、自立支援を第一に考え、そのために必要なサービスを見極めていく旨を丁寧に説明し、ご理解いただく。
できないところを適切にサポートするように努める。情報収集、課題分析をしっかり行う。
利用者の思いや訴えの真意をしっかり受け止め、できること、できないことを見極める。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成　27　年11　月　18　日（16：30　～　18：00　）
４．　地域での暮らしの支援	メンバー	保多盛・中谷・室永・古屋・勝原・日坂・山本・迫・堺

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？	人	10人	4人	1人	15人
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？	人	9人	4人	2人	15人
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？	人	9人	2人	4人	15人
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？	1人	2人	7人	5人	15人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

日々の関わりの中で、その方のこれまでの生活歴、家族歴などの情報を集め、本人が最も望む生活を確認し理解するように努めている。利用のない日でも、室温確認等の訪問を行い、顔を合わせる機会をできるだけ多く設けている。
地域の行事に積極的に参加し、地域との関係が途切れないよう、本人の希望する場所へ出かけて、楽しく過ごせるよう配慮している。

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

地域資源に対する理解が充分でなく、その方を取り巻く地域資源についてもあまり理解できていない。そのため、適切なサポートができているとは言えない。小規模のサービス（通い、訪問、泊まり）を利用されていない時間の暮らしぶりの把握が不十分である。職員配置上の問題もあり、すべての利用者のニーズに応えきれていない。本人の本音の部分に踏み込んだ関わり方ができていない。地域住民とどのように関わるのがよいか分からない。

次回までの具体的な改善計画	（200字以内）

地域資源とは何かをよく理解し、一人ひとりのニーズと地域資源を結びつけられるようになる。
ボランティアスタッフの力を借りる。ボランティアの方にも、理解を深めていただけるよう働きかける。
運営推進会議メンバーとの協力体制をより強化する。
情報収集に力を入れ、アセスメントシート（課題分析のための用紙。個人の情報が記入されている）に記入していく。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成　27　年11　月　18　日（16：30　～　18：00　）
５．　多機能性ある柔軟な支援	メンバー	保多盛・中谷・室永・古屋・勝原・日坂・山本・迫・堺

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	人	人	人	人	人

前回の改善計画
前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？	2人	7人	2人	4人	15人
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	4人	8人	3人	人	15人
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？	4人	11人	人	人	15人
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	3人	9人	3人	人	15人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

本人の体調や都合（病院受診、外出等）に合わせて、家族にも連絡を取り、サービスを柔軟に変更している。
それに伴い、職員の配置、勤務時間等も柔軟に変更している。（例えば、入浴予定の日時に外出するため、別の日時に変更したり、体調が優れず、自宅で一人過ごすのが危険である場合の宿泊利用、など。）体調などに変化が見られたら、リーダーに報告、ミーティングで申し送り、記録に残している。伝達ノートを活用し、情報共有を行っている。
大切にしてきた場所や人との関係が継続できるよう支援をしたり、思いや言葉を記録に残し、共有している。

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

地域資源とは何かが把握できていず、活用もできていない。地域との関わりも不十分で、自分たちだけで何とかしようしようとしている。ご家族やボランティアへの支援協力要請不足。
ショートステイの部屋の制限（空き部屋が少なく、1室は和室）があり、ショートステイが受け入れられないことがある。
デイルームの狭さや、職員の不足のため、通いサービスを増やしてほしいという要望に応えられない。

次回までの具体的な改善計画	（200字以内）

地域資源とは何か、さらに、”その方にとっての地域資源”は何かを把握し、活用できるよう働きかける。
ボランティアの受け入れを検討する。
ハード面、人員配置について現状を見直し、工夫改善しながら、改築等必要な箇所は積極的に検討提案する。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成　27　年11　月　18　日（16：30　～　18：00　）
６．　連携・協働	メンバー	保多盛・中谷・室永・古屋・勝原・日坂・山本・迫・堺

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	2人	5人	1人	7人	15人
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	1人	5人	4人	5人	15人
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	2人	5人	6人	2人	15人
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	2人	3人	7人	3人	15人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

山の田内科やリハビリとの連携や、サ付住宅職員との情報交換を心がけ業務にあたっている。
地域行事へ参加したり、ケアタウン山の田の夏祭り等の行事に、地域の方々を招いて交流している。
運営推進会議で情報交換し、防災訓練に参加してもらった。

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

山の田内科、リハビリとの情報交換手段は専ら文書で行っており、会議は開催していない。それぞれの時間や都合を合わせることが難しい。
事業所に訪れるのは見学の方のみで、登録者以外の一般の方、地域の方が訪問することはほとんどない。事業所が地域に開かれた場所になっていないこと、地域の方が気軽に訪れるきっかけがないことが原因と思われる。
時間や職員数にゆとりがなく、地域の行事にお連れできる利用者数に限りがあり、地域の会議等にも参加できていない。

次回までの具体的な改善計画	（200字以内）

グループホームが行っているオレンジカフェを共同開催することで、より多くの地域の方々に案内をし気軽に集える機会を設ける。また、外部開催の認知症カフェに外出支援ででかけ、地域の方々と交流する機会を増やす。
サ付住宅も地域資源と考え、地域との連携・協働への理解と協力を仰ぐ。
ボランティアや、小中学生の職場体験等を積極的に受け入れる。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成　27　年11　月　18　日（16：30　～　18：00　）
７．　運営	メンバー	保多盛・中谷・室永・古屋・勝原・日坂・山本・迫・堺

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか？	3人	6人	5人	1人	15人
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	2人	8人	4人	1人	15人
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	2人	5人	5人	3人	15人
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか？	1人	6人	6人	2人	15人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

運営推進会議の開催により、事業所の取り組みを知ってもらえたり、地域の方々からの意見を聞く機会ができて、ケアの向上につなげることができている。
月に一度の職場会議では、話し合いの場を設け、積極的に提案事項を話し合っている。
意見、苦情等は真摯に受け止め、改善に努めている。

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

運営推進会議に参加する職員が限られており、他職員があまり参加できていず、そのため実際に運営に携わっている実感がない。地域の困りごとや取り組みに関われていない。
地域の方々との交流の機会が限られており、地域における小規模の役割も理解できていない。
ケアタウン山の田が、災害時の避難場所になることを提案したが、そのための具体的な話は進んでいない。繰り返し提案し、困難な部分を解決しようとしていなかった。

次回までの具体的な改善計画	（200字以内）

地域行事（清掃活動等）に、職員皆が積極的に参加し、地域に関わっていく。
２階にあるレストランを地域に開放する等、活用の仕方を検討する。
各会議の際は、主体的に臨み、積極的に意見を発言する。また、その意見が尊重されるような会議にする。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成　27年 11月 23日（16：30　～　18：00　）
８．　質を向上するための取組み	メンバー	保多盛・菊川・中谷・古屋・佐々木・室永・米田・堺

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	7人	3人	5人	人	15人
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	5人	3人	5人	2人	15人
③	地域連絡会に参加していますか	1人	3人	5人	6人	15人
④	リスクマネジメントに取組んでいますか	7人	8人	人	人	15人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

今年度は外部研修の参加回数を決め、全員が1回以上研修参加できるようにした。研修案内を全員に回覧し、参加後はレポートを提出して共有した。

リスクマネジメント（これから起きるかもしれない危険、事故、トラブル等に対し、組織的に管理し、回避、低減をはかること）については、毎年1回研修を行い、職員全員で取り組んでいる。重大事故には至らなかったが、一歩間違えばその可能性があった事態(インシデント)に関して、積極的に記録し、話し合って再発防止に努めている。

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

地域連絡会に参加できていない。地域連絡会が具体的にどのような会議を指しているのか分からなかった。

自身の向上のため、研修に参加したい思いはあるが、研修場所が遠い、研修費の負担が大きい等の理由から、参加をためらうことがあった。参加をしても、自身のスケジュールを管理できず、レポート提出ができないことがあった。
職員間で介護や仕事に対する思いの違いがあるのか、リスクに対しての意識統一が図れていない部分がある。

次回までの具体的な改善計画	（200字以内）

職場勉強会は、全職員が参加できるように配慮する。外部研修の案内を今まで以上に行い、各自の目標に沿った研修を見つけやすいよう工夫する。自分の目標に沿った研修を探す意識を持つ。
市に質問票を送り、地域連絡会が具体的にどのような会議を指しているのかを把握、参加できるようにする。
インシデントについては、気づいた人が声掛けし、どこがどのように危険なのか意識づけができるようにすることで、職員全員の意識統一を図る。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成　27年 11月 23日（16：30　～　18：00　）
９．　人権・プライバシー	メンバー	保多盛・菊川・中谷・古屋・佐々木・室永・米田・堺

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	人	人	人	人	人

前回の改善計画
前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	身体拘束をしていない	8人	6人	1人	人	15人
②	虐待は行われていない	14人	1人	人	人	15人
③	プライバシーが守られている	4人	10人	1人	人	15人
④	必要な方に成年後見制度を活用している	7人	8人	人	人	15人
⑤	適正な個人情報の管理ができている	7人	7人	1人	人	15人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

身体拘束や虐待についての勉強会を行い、全員が理解し守っていくようにしている。職員間で連携を図り、見守りをすることで危険防止に努めている。「ちょっと待ってください」と、言葉で利用者の行動を制限してしまう場面は、職員が1名になる時間帯や、2か所あるトイレが両方とも使用中の場合などに起こるが、待っていただく理由と待ち時間の目安を伝えるよう心掛けている。トイレの声掛けは他者に聞こえないよう配慮し、入浴は同性介助を基本に行っている。利用者の情報を確認し、プライバシーに触れるような内容を把握している。個人情報書類の処分にはシュレッダーを使用し、取り扱いに配慮している。

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

座っているときの姿勢が保てない方の前に、テーブルを置いている。前に倒れることや不意に立ち上がることを防ぐとの理由があるが、それは身体拘束である。トイレ介助の際、便座に座っている状態で車いすを外に出していたが、外の人に中の様子が見えてしまうため、配慮不足である。見守り職員が少ない時間帯では、安全面だけを考慮していた。重要書類を見えるように置いたまま、またはパソコンで個人情報を立ち上げたまま場を離れることがあった。必要な報告、伝達だからと正当化し、申し送りを他利用者がいる場所で大きい声で行ってしまった。気の緩みもあった。

次回までの具体的な改善計画	（200字以内）

言葉で利用者の行動を制限してしまう場面では、必ずその理由と待ち時間の目安を伝えるようにする。
トイレ使用時は、車いすをたたみ、トイレ内に置く。利用者の状態は常に見守り、必要に応じ家具配置の工夫をする。
通信などへの写真掲載は、契約時ご家族に同意いただいているが、利用者本人にもわかりやすい説明をする。
申し送りは、利用者の状態や状況を見極めその時々にあった場所で、声の大きさに配慮して行う。
個人情報保護については、再度全職員に周知徹底し意識を高める。